

Office of the Chairperson



Postbus 475, 3500 AL Utrecht, Netherlands
Tel.: +31-30-8895306 Fax: +31-30-2322989
Emails: ilpschair@casema.nl & ilp515@runbox.com
Web URL: <http://www.ilps.info>

日本・京都での AWC 第四回総会への連帯メッセージ

ホセ・マリア・シソン

国際民衆闘争連盟 国際調整委員会 議長

2016年2月17日

国際民衆闘争連盟 (ILPS) を代表して、米日のアジア侵略・支配に反対するアジアキャンペーンの第四回総会に連帯のあいさつを送ります。私たちはこの総会に韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、日本、米国の代表団が参加すると聞いて喜んでいきます。

ILPSに参加する私たちは皆、皆さんの大衆闘争における革命的な献身性、戦闘性、勝利に最大の敬意を払っています。私たちは、「帝国主義の侵略戦争、抑圧、収奪に対する共同の闘いを強化しよう！新自由主義攻撃に対する反撃を拡大しよう！アジア太平洋の民衆の団結を発展させよう！」のスローガンの下で開催される皆さんの総会とその関連事業が成功することを願っています。

米国および他の帝国主義諸国によるシリアその他での侵略戦争の激化に反対することは私たちの緊急の課題です。米国自らがテロ組織を創りだし、それを米国とその帝国主義的同盟国の侵略戦争の口実にしているのです。米国はロシア周辺国への NATO の拡張をおし進め、挑発行為を行っています。

アジア太平洋地域においては、米国はその軍事プレゼンスと二国間・多国間軍事同盟を強化し続けています。これはいわゆる米国の戦略的アジア回帰あるいは「再均衡」戦略と関連するものであり、それがこの地域における不安定性、軍事的緊張、戦争の脅威を引き起こしています。

米国の公然たる目的は中国を包囲することにあります。中国自体も南中国海をめぐる九段線という法外な領土主張をすることで、米国のフィリピンへの介入とその要塞化の口実に奉仕しています。これに関連して、フィリピンにおける米帝国主義の傀儡はまた、日本に対してフィリピンに軍隊を展開させるように求めています。

日本の安倍政権は、日本を米国の侵略への積極的なパートナーになれるようにしようとしています。安倍政権は日本の軍隊をアジア・世界へと軍事出動できるようにするために新安保法制を制定しました。この転換は、日本がその植民地支配と侵略の長い歴史、および、絨毯爆撃と 1945 年の原爆投下による日本人の命と財産の大規模な破壊から学んできた教訓にまったく相反するものです。

帝国主義と各国の独占ブルジョアジーは、きわめて貪欲に新自由主義政策をおし進めてきました。それは企業と富裕層、貿易・投資の自由化、公共部門の民営化、これまでの社会的環境的規制の規制緩和、低開発国の経済の脱国有化のために、賃金、社会福祉、税金の控除額を切り下げる政策です。

賃金を切り下げ、労働者階級とすべての低開発諸国からの収奪、そして失業、収入の不平等、大規模な貧困にともなう問題は、大衆消費者の購買力を低下させ、過剰生産恐慌を生み出し、悪化させます。金融市場で資本家を儲けさせるための金融資本の利用は、危機を解決せず、生産の停滞と失業の問題をより悪化させる金融危機を引き起こすだけです。

新自由主義経済政策は周期的でいっそう悪化する経済・金融危機を引き起こします。2008年恐慌からの真の回復の以前にもかかわらず、新しくより大きな危機がやってきました。人々は更なる経済的苦難と社会的混乱、抑圧者・搾取者に対する戦闘的な闘争に備えなければなりません。

環太平洋パートナーシップ協定その他の自由貿易協定は、アジア太平洋地域の民衆の搾取、抑圧、苦難をさらに強めるものです。それらの協定はただ特定の帝国主義国の経済・貿易支配の永続化に奉仕するだけのものです。グローバルな経済・金融危機がより悪化するなかで、支配的な帝国主義の最悪の押し付けに挑戦する BRICS と BRICS 開発銀行のような競合的な経済・貿易ブロックも生まれています。

世界資本主義の最悪の結果は、帝国主義諸国が軍需生産を増大させ、軍隊を配備し、安価な労働力と原材料の源泉、投資の舞台、市場、影響力を拡大するために、侵略戦争を行うことです。米国はこの点に関して今もなお世界第一の帝国主義的怪物です。アジア太平洋地域の民衆は、米国と対決しつつ、優れた知恵と勇気、忍耐力を発揮しています。

第四回総会において、皆さんが各団体およびアジア太平洋地域の民衆の団結を強め、日帝国主義の戦争策動、軍事介入、新自由主義攻撃に対する共同の反撃に向けた力量を発展させることを期待しています。私たちは皆さんが 2009 年の第三回総会以来の経験を汲みだし、共通の敵に対するアジア太平洋地域の労働者・民衆の共同行動と相互支援の計画を成功裏に創りだすことを願っています。####